

川崎重工業株式会社

NO.2025116

2026年2月26日

**海外初となる R&D イノベーションセンター
「Kawasaki Innovation Centre Europe SAS」を設立**

川崎重工は、フランス・ストラスブールに、海外初となる R&D イノベーションセンターとして、新会社「**Kawasaki Innovation Centre Europe SAS**」（以下、本センター）を設立し、2026年3月1日より運営を開始します。

本センターは、同じくフランス・ストラスブールにある IRCAD（消化器がん研究所／Institut de Recherche contre les Cancers de l'Appareil Digestif）に所在しています。IRCAD は、外科教育・研究・技術開発を統合的に推進する、世界的に高い評価を受ける国際的研究拠点です。1994年に、低侵襲手術およびロボット手術の世界的パイオニアであり、史上初の大西洋横断遠隔手術「リンドバーグ手術」を成功させた Prof. Jacques Marescaux によって設立されました。

当社は、このような国際的研究拠点に集まっている医療・介護関係者などのステークホルダーのニーズを掴むとともに、最先端の技術や幅広い知見を持った人々や企業との接点を持ち、共創・連携を積極的に推進することで、ヘルスケア分野における事業開発に取り組みます。

まずは、川崎重工グループとして有する手術支援ロボット（hinotori™）、自律走行サービスロボット（Nyokkey）、屋内配送ロボット（FORRO）、屋内外位置情報ソリューション（mapxus Driven by Kawasaki™）などの製品と、AI・遠隔技術を組み合わせたワンストップソリューションの創出によって、病院経営の効率化支援などの課題解決に取り組んでいきます。

当社は、ヘルスケア分野における事業ビジョン「**未来のヘルスケアを共創する**」のもと、医療や介護現場における新たなソリューションと最適なデザインの創出に向けて、多様な人々・企業が出会い、集い、共に考え、実証しながら新たな価値を生み出す「共創の場」として本センターを運営し、グローバル医療の発展に貢献していきます。

□Kawasaki Innovation Centre Europe SAS の概要

- 所在地：フランス グラン・テスト地域圏 ストラスブール市（IRCAD France 内）
- 運営開始：2026年3月1日
- 資本金：1.0 Million€（約1.8億円※）（川崎重工 100%出資）
- 代表者：亀山 篤（カメラヤマ アツシ、研究開発・イノベーション担当）、
中西 徹弥（ナカニシ テツヤ、戦略・マーケティング担当）
- 事業内容：ヘルスケアソリューションの研究・開発、マーケティング、ビジネスディベロップメント

※為替レートは、1€ = 182円